

事務事業名	農業振興地域整備促進事業					☐ マニフェスト関連		☒ 全庁横断課題関連	
政策名	総合計画体系	03 働く人々が輝き続けるまちづくり				所属部	産業振興部	所属課	農政課
施策名	11	農業の振興				所属係	農業振興班	課長名	古閑 誠也
基本事業名	30	生産基盤の確保				担当者名	中嶋 民智	電話番号 (内線)	
予算科目	会計	款	項	目	事業	法令根拠	農業振興地域の整備に関する法律 合志市農業振興地域整備促進協議会条例		
事業期間	☐ 単年度のみ		☒ 単年度繰返			☐ 期間限定複数年度→全体計画の投入量を記入			
						↳ (開始年度 昭和46 年度 ~) ↳ (年度 ~ 年度)			
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(期間限定複数年度のみの) (単位:千円)			
(事業の内容) 農業経営の基盤となる適正な農地管理を行うため、市内の農地の状況把握や計画的な土地利用及び農業振興を図る。 (業務の内容) 各種申請に必要な農振関係証明書の交付及び農振地域農用地区域において施設等を整備する際に、申請者から書類の提出を受け、市より協議会に諮問し、可否の答申を受け計画変更の公告を行う。また、19・20年度については、農振整備計画の全体見直しを実施する。 (予算の内訳) 報酬、賃金、費用弁償、委託料						総 投 入 量	事業費 内 訳	国庫支出金	
								都道府県支出金	
								地方債	
								その他	
								一般財源	
							事業費計 (A)	0	
						人件費	正規職員従事人数		
							延べ業務時間		
							人件費計 (B)	0	
							トータルコスト(A)+(B)	0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

18年度実績(18年度に行った主な活動)

事務事業の概要と同じ

19年度計画(19年度に計画している主な活動)

農業振興地域整備計画の全体見直し及び事務事業の概要と同じ

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

農業振興地域内農用地

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

農用地として保全されている

④ 結果(どんな結果に結び付けるのか)

農業の経営基盤が強化される

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない

名称	单位
----	----

ア 除外申出件数 件

イ 編入申出件数 件

ウ

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない
 名称

ア農用地面積 ha

イ
ウ

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は
 名称

ア農用地からの除外面積

イ

⑧上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入し
各数

ア 農業生産額 千

イ

ウ

(2) 総事業費・指標等の推移

				単位	16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (見込)	20年度 (目標)	21年度 (目標)	22 年度 (最終目標)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円				0	0		
			都道府県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円			394	7,686	5,249	249	249
			事業費計 (A)	千円	0	0	394	7,686	5,249	249	249
	人件費	正規職員従事人数	人			1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間			200	1,600	1,600	200	200	
		人件費計 (B)	千円	0	0	794	6,352	6,352	794	794	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	1,188	14,038	11,601	1,043	1,043	
活動指標			アイウ	件 件							
対象指標			アイウ	ha		1,855	1,855	1,855	1,855	1,855	
成果指標			アイウ	ha		0.25	0.1	50	0.1	0.1	
上位成果指標			アイウ	千円							

合志市

事務事業名	農業振興地域整備促進事業	所属部	産業振興部	所属課	農政課
-------	--------------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

農業振興地域の指定から(昭和46年)

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？

農業者の高齢化、後継者不足により遊休農地等の問題がある。また、住宅地、工業団地等の開発が今後予想される。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】  ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】  直接農用地の保全事務である。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】  ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】  市の計画による土地の利用制限である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】  ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】  法律による対象農業振興地域内農用地
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】  ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】  農用地指定からの除外は、最低限に抑えられている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】  ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】  農地の乱開発が危惧される。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある  (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】  ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】  類似する他の事務事業はない。 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】  ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】  法律による規定の事務である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】  ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】  年3回の申請手続を予定しており、これ以上の事務の削減そのものは難しい。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】  ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】  農用地の確保は、公の目的である。

合志市

事務事業名	農業振興地域整備促進事業	所属部	産業振興部	所属課	農政課
-------	--------------	-----	-------	-----	-----

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 法律による事務処理であるため、手続の簡素化などについての工夫できる範囲が限られている。																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善) ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善) ☒ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 土地利用の権利を制限する制度であるため、厳格かつ迅速な処理に努めていく。		(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 法律の施行であり、法改正などが進まないと、工夫などが難しい。																							

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☐ 記述は十分なされている ② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☐ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(3) 評価結果の根拠と理由																					
(2) 2次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり		(5) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(4) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善) ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善) ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)																							
(6) その他2次評価会議で指摘された事項																							